

特集

町政あんない

情報コーナー

まなびすと

キラリ健康ナビ

わいわいプラザ



保育に活かすおはなしテクニク

こがよつこ 著 (小学館)

長年、子どもたちへの「おはなし」を実践してきた著者が、3分程度で語れる全35話のおはなしを紹介。子どもの心に届く話し方のポイントも解説する。



ハチミツの歴史

ルーシー・M・ロング 著 (原書房)

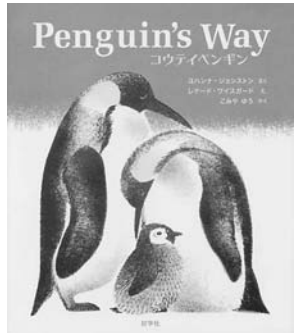
現代人にとつては甘味料のハチミツは、古来神々の食べ物であり、薬、保存料、武器でさえあった。ミツバチと養蜂、食へ方、飲み方の歴史から、政治、経済、文化との関係まで、ハチミツと人間との甘美な歴史を描く。



サハラ

下村敦史 著 (KADOKAWA)

研究のため、自らの手を汚した考古学者は、航空機の墜落により、砂漠横断を余儀なくされる。危険を内包したパーティに、さらに襲い来る困難の数々。やがて一行は分裂し…。



コウテイペンギン

児童書

レナード・ワイスガード 絵 (好学社)

夏が終わると、何百羽ものコウテイペンギンが、南極大陸に移動します。パートナーを探し、ひな鳥の誕生、子育て。コウテイペンギンたちのくらしを、美しい絵とともに描きます。

(3~5歳向け)

豊山俳句クラブ

青山克己 選

無造作にありて寒林痛々し 青山とも子

冬銀河いま五代目を名乗りけり 水野真弓

窓際のピアノの調べ秋の宵 谷崎 琴

いかやうになるやならずや冬の蝶 高木須磨子

暮れてなほ十一月の赤い橋 田村多喜子

眠る田や転がる風のたいらかな 坪井昭子

豊山歌壇

水野笑子 選

ひこばえの緑広がる田の面に 水谷弘子

早苗かと紛ふ生のいのちは 水野勝代

土手に咲く真赤に広がる彼岸花 「死人花」とふ言葉は悲し 山田 米

森の中を歩みて木の名を知る友は 山に親しみ遊びし人なり 渡辺トヨ子

ロマンある豊山町も田は消えて 建売住宅マンション連なる

閉ざされし水車小屋より時雨来る 杉浦みどり

浮き寝鳥ゆらりゆらりと夢の中 平手英信

丸き月一日師走の中にあり 小塚美枝

眺に捉えし光風花す 岡島 齋

荒波に揺らぐ小舟や冬の月 坪井径子

鳥渡るこれがかの言ふ兵馬備 石黒貴代子

俯きて何処かが暗い冬の人 青山克己

警察署、市役所、県庁それぞれに 交通安全を吾らに換取す 荒川昌枝

最後なる山里離れて一時間 安藤定岳

山間の下に雲海現はる

落葉樹に巣作る鳩の静けさよ 一柳千鶴子

秋の終章をここまで来てる

晴れやかな熱田様とふ杜歩む 井上とよほ

砂利踏む音も清らに聞こゆ 木村和子

灯を消していつもの通り十一時 眠らむとして無我の境地へ 小出寿枝

からす瓜垣根に育ちゆらゆらと 主を呼ぶごと巡り来る季の

編集後記

「あなやさし。み方の御勢は皆落ち候ふに、ただ一騎残らせ給ひたるこそ優なれ(なんと殊勝なことよ。味方の兵士は皆逃げましたのに、ただ一騎残つていらつしやるのは立派なことだ)」平家物語の一節である。現代の「やさしい」という言葉は、「殊勝な」という意味にも用いられていた▼二月十七日に「やさしい日本語講座」を開催する。東日本大震災では「高台に避難してください」という言葉に多くの人々が救われた一方で、「高台」や「避難」という言葉の意味が分からず逃げ遅れてしまった外国人も少なくなかったそうだ▼普段何気なく使う言葉にも、日本語に不慣れた外国人には伝わらない言葉が意外に多い。「高台へ避難」を「高いところに逃げてください」と言い換えるだけで、救われる命がある。英語や中国語への翻訳より、断然、早く正しい情報を伝えることができるそう。特に命にかかわるような場合に有効である▼講座では、外国人にもわかるような日本語にするための注意点などを学ぶ。やさしい日本語は、外国人だけでなく、子どもにも伝わりやすい。活用するのは、まさに殊勝ないや、すぐれた取組みである。